

5 / 2 校長講話

皆さんは、「一期一会（いちごいちえ）」という言葉を知っていますか。

（茶の湯で、）一生に一度の出会いのことです。

その時の出会いは、二度と巡り会える機会がないので、一つ一つの出会いを大切にすべきである、という意味の言葉です。

さて、人が一生で出会う人の数は何人ぐらいだと思いますか。

答えは、人生80年として、何らかの接点を持つ人が30,000人、

同じ学校・職場や近所の人が3,000人、

親しく会話を持つ人が300人、

友人と呼べる人が30人、

親友と呼べる人が3人だそうです。

確率に直すと、友人と呼べる人と出会う確率は、2億4000万分の1で、親友と呼べる人と出会う確率は、なんと24億分の1になります。人との出会いが天文学的奇跡だということは、この数字を見ると明らかですね。すれ違った人、好きな人、嫌いな人、助けられた人、喧嘩した人、優しい人、厳しい人、奇跡のように巡り合っているからこそ、一つ一つの出会いを大切に感謝していきたいですね。

今日は、離任式があります。昨年度までお世話になった先生との出会いもまさに「一期一会」です。出会いに感謝して、コロナ禍の中で、リモートで行うため直接お会いしての式ではありませんが、来てくださった皆様が喜んでくださる式にしましょう。